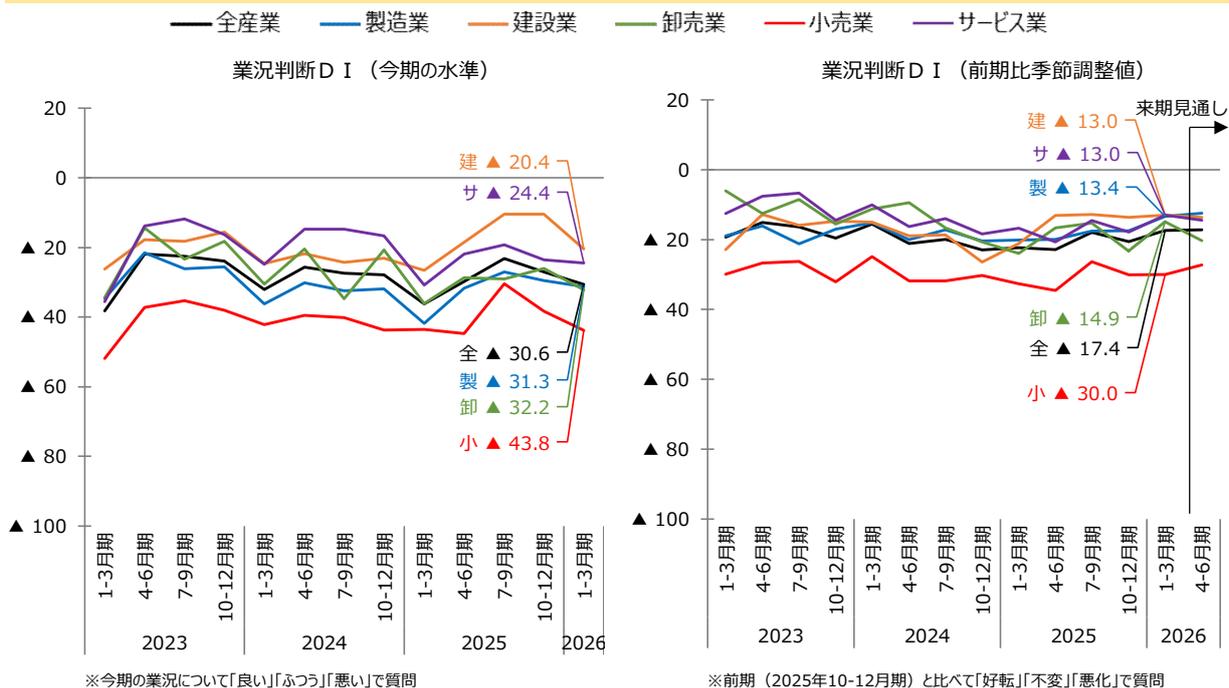


第183回 中小企業景況調査（2026年1-3月期） 東北

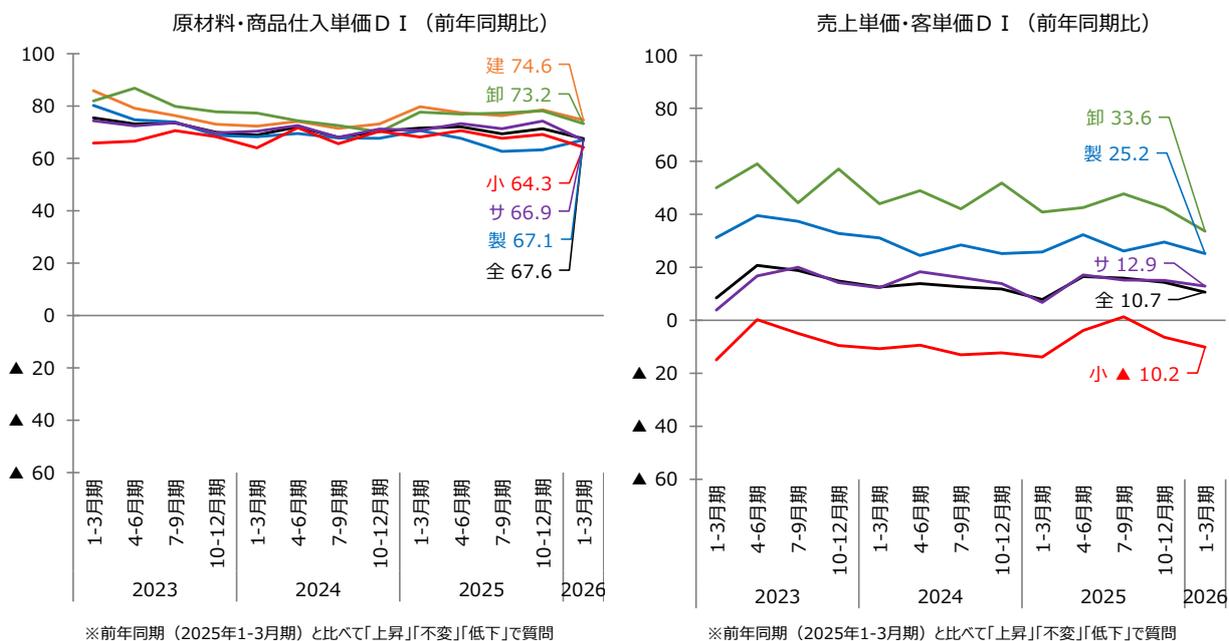
1. 業況感

東北地域の中小企業の業況判断DI（今期の水準）は、全産業で前期（2025年10-12月期）より3.6ポイント減の▲30.6と2期連続して低下した。産業別にみると、すべての産業で低下した。



2. 仕入単価・販売単価

原材料・商品仕入単価DIは、全産業で前期より3.7ポイント減の67.6と2期ぶりに低下した。産業別にみると、製造業で上昇し、サービス業、卸売業、小売業、建設業で低下した。また、売上単価・客単価DIは、全産業で前期より3.6ポイント減の10.7と3期連続して低下した。産業別にみると、すべての産業で低下した。



<調査概要> 調査時点は2026年3月1日、調査対象は中小企業基本法に定義する全国の中小企業

今期の調査対象企業数：18,825 有効回答企業数：17,895 有効回答率：95.1% うち、東北：1,823企業

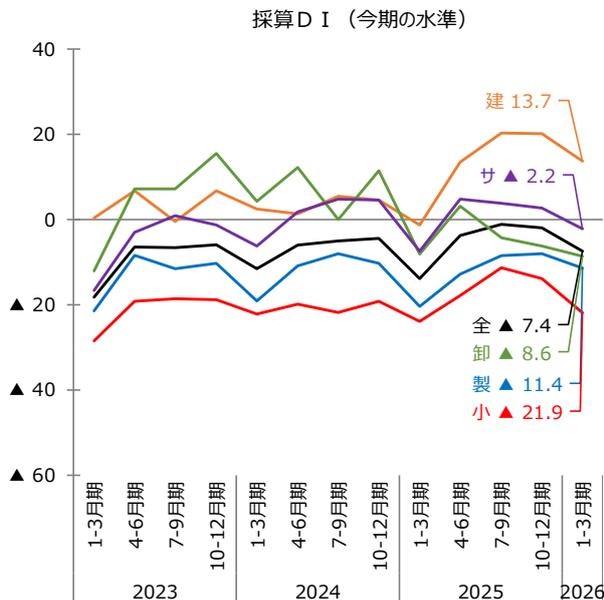
※本資料の集計対象の都道府県は、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県です。

第183回 中小企業景況調査（2026年1-3月期） 東北



3. 採算

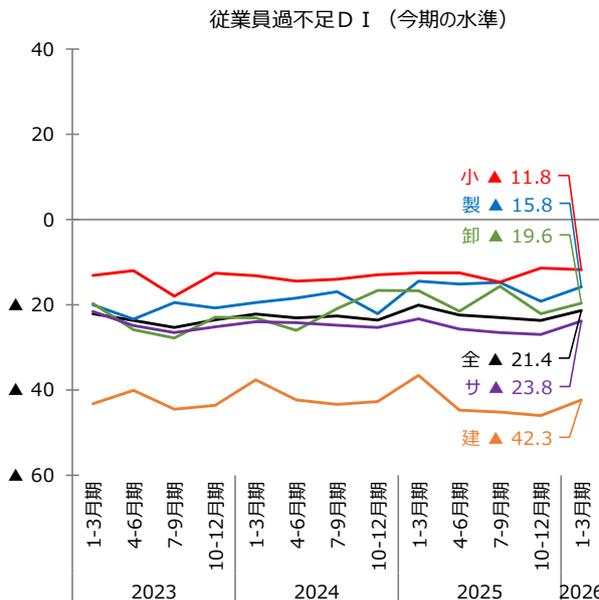
採算DIは、全産業で前期より5.4ポイント減の▲7.4と2期連続して低下した。産業別にみると、すべての産業で低下した。



※今期の採算について「黒字」「収支トントン」「赤字」で質問

4. 従業員過不足

従業員過不足DIは、全産業で前期より2.3ポイント増の▲21.4と4期ぶりに上昇した。産業別にみると、建設業、製造業、サービス業、卸売業で上昇し、小売業で低下し



※今期の従業員について「過剰」「適正」「不足」で質問

5. 東北の中小企業の声

業況判断の背景		業種
現状	加工単価に対しての材料費・人件費の上昇により、利益が減少し経営が困難になりつつある。	製造業 他に分類されない金属製品 製造業
	材料価格の上昇には、落ち着きは見られるが高止まりの状態。技術者、熟練技術者の確保は困難である。また、技術者の育成、採用はそれ以上に困難である。	建設業 一般土木建築 工事業
	仕入単価の上昇が継続しており、販売価格は大手企業との価格競合の観点から十分な利幅確保には至らず、現状は薄利の状態である。多売を目指すも、買手も慎重姿勢のため利益確保が困難な状態である。	卸売業 他に分類されないその他の卸 売業
	今年は大雪で、遠方からの客数が減ったことに伴い仕事量も減り、悪い流れであった。	小売業 酒小売業
	インバウンド宿泊者が増えている。特にタイ。国内旅行者も増えている。	サービス業 旅館、ホテル
見通し	需要低迷の中、原材料の値上げが4月より実施予定となり、価格上昇につながる。更なる経費節減から需要減が見込まれ、悪循環になると予想する。	製造業 オフセット印刷 業（紙に対するもの）
	官公需要の落ち込みが見込まれ、熟練労働者が確保できない。物価高・人件費高で景況悪化が不安である。	建設業 一般土木建築 工事業
	大手版元の事業整理により雑誌の休刊などが始まっている。2026年3月で出荷停止になる書籍や在庫整理に対応する必要がある。新入学用品も学校の方針変更で大幅に受注額が減少する見込み。	卸売業 その他の各種 商品卸売業
	燃料に関しては大雪による寒さの影響で使用量が増加し売上もプラスになった。今後、人口減少やイラン情勢が悪化する等の要因により、仕入価格が上昇する恐れがあるので、経費等の見直しを行い収益を確保する必要がある。	小売業 電気事務機械 器具小売業 (中古品を除く)
	昨秋の熊出没、今冬の積雪状況などが続き、来街者、来店者数が激減。また、今期は、クルーズ船の来船数が激減し、売上も減少予想。営業時間の短縮等の店舗運営の曲がり角である。	サービス業 デザイン業

※中小企業景況調査の自由回答(フリーコメント)